

令和5年度

## 事 業 報 告

令和5年4月 1日から

令和6年3月31日まで

公益財団法人 太田記念美術館

## I 公益目的事業

### 1. 浮世絵に関する展覧会の企画および開催

#### 1) 企画展示

太田記念美術館において以下のとおり6つの展覧会を開催した。開館日数は200日間。

令和6年1月から3月末まで休館し、大規模修繕工事を行ったため、開館日数は例年よりも50日ほど少なかつたが、年間入館者数は、当初の目標である53,000名に対し26,819名多い79,819名（目標対比151%）と、目標を大幅に上回った。入館者数の水準は新型コロナウィルス流行前の令和元年度をやや超える程度まで回復することができた。

展覧会名	会期	開館 日数	入館者数(人)					
			有料	無料	総計	1日平均		
特別展 江戸にやんこ 浮世絵ネコづくし 一般1200円、大高生800円、中学生以下無料	前期 4/ 1～ 4/25	47	26,343	1,118	27,461	584	593	
	後期 4/29～ 5/28							
ポール・ジャクレー フランス人が挑んだ新版画 一般1000円、大高生700円、中学生以下無料	前期 6/ 3～ 6/28	44	13,258	521	13,779	313	215	
	後期 7/ 1～ 7/26							
歌川広重 山と海を旅する 一般800円、大高生600円、中学生以下無料	8/ 1～ 8/27	24	6,044	508	6,552	273	364	
美人画 麗しきキモノ 一般800円、大高生600円、中学生以下無料	前期 9/ 1～ 9/24	41	9,203	400	9,603	234	87	
	後期 9/30～10/22							
葛飾応為「吉原格子先之図」 一肉筆画の魅力 一般1000円、大高生700円、中学生以下無料	11/ 1～11/26	23	14,106	416	14,522	631	176	
深掘り！ 浮世絵の見方 一般1000円、大高生700円、中学生以下無料	12/ 1～12/24	21	7,463	439	7,902	376	168	
合計			200	76,417	3,402	79,819	399	1,603

### 2. 浮世絵その他の美術品の収集、保存

#### 1) 美術品の購入

収蔵品の体系的、通史的なバランス、展示計画を考慮の上、版画を47点購入した。

#### 2) 所蔵品の修復

今年度は所蔵品の修復は行わなかった。

#### 3) 収蔵品の保存

浮世絵版画は光に弱く、展示により退色が進むため、作品の展示期間を厳正に管理した。また、温湿度管理、照度管理も厳格に行い、作品保護に努めた。

### 3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動

#### 1) 講座等の開催

① 下記の講座を開催した。

##### ア) 江戸文化講座

浮世絵にとどまらず、江戸時代全般へ視点を広げ、さまざまな分野の専門家から江戸の文化を学ぶという趣旨の下、全3回の連続講座を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降中止していたため、3年ぶりの開催となった。

受講料は一般6,000円、パスポート会員5,000円(全3回分)。受講料に展覧会入場料含む。

◇講座テーマ：浮世絵入門－風景画・美人画・役者絵 申込者数：50名

	開催日	演題・講師	受講者数
第一講	10月 7日(土)	「浮世絵の基礎と風景画」 練馬区立美術館 主席学芸員 加藤 陽介	48名
第二講	10月 14日(土)	「流行に敏感な女性たち」 公益財団法人平木浮世絵財団 学芸員 松村 真佐子	46名
第三講	10月 21日(土)	「役者絵の魅力－情報を読み解く楽しさ」 神奈川大学国際日本学部准教授 藤澤 茜	45名

(敬称略、肩書きは講座開催当時)

##### イ) 夏休み子ども講座

小中学生とその保護者を対象に、下記の講座を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降中止していたため、3年ぶりの開催となった。参加費は無料。

開催日	演題・内容	参加者数
8月 19日(土)	夏休み子ども講座 「浮世絵をつくってみよう」 ワークショップ参加者が、摺り師指導の下、実際に浮世絵版画の摺りを体験し、 その制作工程を学んだ。 協力：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団	20組 40名

#### ② 学芸員によるスライドトーク

入館者を対象に、展示作品をより深く理解し、浮世絵を身近に感じてもらうことを目的として、担当学芸員によるスライドトークを、定員数に制限を設け下記のとおり開催した。参加費は無料。

展覧会名	開催回数	受講者数
ポール・ジャクレー フランス人が挑んだ新版画	8回	399名
歌川広重 山と海を旅する	3回	151名
美人画 麗しきキモノ	7回	321名
合計	18回	871名

#### ③ 日曜映写会の開催

・企画展会期中の日曜日に浮世絵の歴史、伝統文化を紹介する映像資料の無料映写会を開催した。

上映内容 『浮世絵 江戸文化の精華(英語字幕付き)』(制作:太田記念美術館)

年間上映回数 46回

観覧者総数 1,130名

・「葛飾応為「吉原格子先之図」－肉筆画の魅力」展の会期末4日間(11月23日～26日)において、混雑緩和対策のため、『浮世絵 江戸文化の精華(英語字幕付き)』を終日リピート上映した。

## 2) 青少年への教育普及活動

- ・青少年への教育普及活動の一環として、美術鑑賞の機会を幅広く提供するため、中学生(15歳)以下の美術館入場料を引き続き無料とした。外国人来館者の増加に伴い、学校教育制度の期間が国によって異なることから、無料対象者の範囲を明確にするため、9月より、従来の「中学生以下」から「中学生(15歳)以下」へ変更した。
- ・教育機関の美術鑑賞教育に協力する等、浮世絵美術の教育普及に努めた。

## 3) 年間パスポート制度

来館者へのサービス向上および浮世絵美術の普及を目指し、例年実施している「太田記念美術館年間パスポート」制度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により臨時休館の可能性があることから、令和3、4年度の二年間、会員募集を休止していたが、令和5年度より再開した。美術館大規模修繕工事により3ヶ月間休館するため、年会費を通常7,000円のところ、5,000円に設定し、398名の申込があった。

会員証提示により、有効期間内の展覧会期中、何度でも入館することができるほか、絵はがき等のオリジナルミュージアムグッズおよび有料講座受講料の会員割引、一年間有効の招待券を2枚贈呈等の特典を提供了。

## 4) 館外協力

### ① 教育機関への協力

青少年に対する浮世絵美術の啓蒙・教育を目的として、教育機関の校外学習を受け入れた。うち、学芸員による主な対応は下記のとおり。

実施日	教育機関名	内容
12月 3日(日)	実践女子大学	展示解説(「深掘り！ 浮世絵の見方」展)

### ② 他機関への協力

美術品の貸出を下記のとおり行った。

貸出先	展覧会名	会期	貸出作品・点数
たばこと塩の博物館	没後200年 江戸の知の巨星 大田南畠の世界	R5. 4.29～ 6.25	肉筆画 3点 版画 1点
サントリー美術館	虫めづる日本の人々	R5. 7.22～ 9.18	版画 9点
山口県立萩美術館・浦上記念館	浮世絵×カブキ 江戸の役者絵展	R5. 7.29～ 8.27	版画 3点 版本 2点
千葉市美術館	サムライ、浮世絵師になる！ 鳥文斎栄之展	R6. 1. 6～ 3. 3	肉筆画 3点 版画 9点

### ③ 調査研究依頼への協力

所蔵品の特別観覧の申請に対し、以下のとおり8件の研究に協力した。

観覧日	観覧者	調査内容
6月16日(金)	千葉市美術館 2名	鳥文斎栄之他 肉筆画5点、版画14点
7月12日(水)	浮世絵木版画彫摺技術保存財団 5名	歌川広重 版画3点

観覧日	観覧者	調査内容
7月25日(火)	立命館大学 1名	勝川春章他 版画74点
9月12日(火)	東京藝術大学大学美術館 2名	喜多川歌磨他 肉筆画1点、版画5点、版本2点
10月 9日(月)	すみだ北斎美術館 1名	葛飾北斎他 版画4点、版本1点
2月20日(火)	那珂川町馬頭広重美術館 1名	歌川広重他 版画12点
3月19日(火)	中山道広重美術館 1名	歌川広重他 版本4点
3月29日(金)	すみだ北斎美術館 2名	勝川春章他 肉筆画10点

## 5) 生涯学習活動への対応

生涯学習センター等の民間組織、団体見学者等に対して学芸員が下記のとおり浮世絵の概要、展示解説等を行った。

展覧会名	人数
ポール・ジャクレー フランス人が挑んだ新版画	1団体 26名

## 6) 広報活動

### ① マスメディア

#### ・記者内覧会

各展覧会において記者内覧会を開催し、展覧会開催の効果的かつ幅広い周知のため、担当学芸員が見どころや作品解説を行った。

・展覧会ごとにプレスリリースを作成し、マスコミ各社へ送付した。

・浮世絵関心者層の増加、美術館の認知度向上および展覧会のPRを目的とし、新聞、テレビ番組、雑誌等の取材協力を積極的に行った。主な協力内容は以下のとおり。

掲載・放送日	媒体	内容
4月 5日(水) 他	読売新聞社運営 情報サイト「美術展ナビ」	美術展ナビ×太田記念美術館コラボ企画「いろはde浮世絵」 4月5日より8月30日まで月6回のペースで30回掲載
5月19日(金)	BS朝日 ネコいぬワイドショー	「江戸にゃんこ」展を紹介 作品撮影、取材協力、出演
5月30日(火)	朝日新聞 気になる一品 リターンズ	歌川芳虎の「家内安全ヲ守十二支之図」をモチーフにしたマスクコットを紹介(太田記念美術館×フェリシモミュージアム部コラボグッズ)
6月20日(火)	朝日新聞	「ポール・ジャクレー」展を紹介
6月26日(月)	毎日新聞	「ポール・ジャクレー」展を紹介

掲載・放送日	媒体	内容
7月 2日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン	「ポール・ジャクレー」展を紹介 作品撮影、取材協力、出演
9月 21日(木)	NHK Eテレ キュレーターバトル!!	番組の取材・監修協力および画像提供。 X(旧Twitter)にて出題のテーマ「#イチ推し生きもの」に沿い、全国の美術館・博物館が所蔵品を紹介する企画趣旨のもと、当館は国芳「里すずめねぐらの仮宿」を紹介した。
10月 12日(木)	朝日新聞	「美人画 麗しきキモノ」展を紹介
2023年12月号	『文藝春秋』	グラビア特集記事「葛飾応為 光と影を操る女浮世絵師」の監修、画像提供および「葛飾応為『吉原格子先之図』—肉筆画の魅力」展の紹介。
12月 3日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館 「まなざしのヒント 深掘り！浮世絵の見方」	「深掘り！浮世絵の見方」展に基づく浮世絵の見方の紹介番組。取材・監修協力および作品撮影、撮影場所の提供、出演等、全面的に協力した。

- 写真資料の提供を希望するテレビ番組、美術関連書籍、雑誌等に対してその利用目的等を確認の上、貸出を行い、江戸文化、浮世絵美術の普及に努めた。

## ② 印刷物の製作・配布

- 令和5年度年間スケジュールを館内にて配布した。
- 各展覧会のポスター・チラシを製作し、館内にて掲示・配布とともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等への配布を行い、展覧会、催事の周知に努めた。
- 第40回浮世絵研究助成の募集要項チラシ(日本語・英語両面)を作成し、館内にて掲示・配布とともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等へチラシ配布を行い周知に努めた。

## ③ ウェブサイト、ソーシャルメディアの運用

### ◇ウェブサイト

館案内、展覧会等の情報を展開し、年間を通して随時情報の更新を行った。

### ◇X(旧Twitter)

- 口コミによる情報の拡散を狙い、X(旧Twitter)を活用して展覧会情報、催事等、美術館ウェブサイトと相互に連携した情報発信を積極的に行うことにより、集客力の向上および幅広い年齢層への認知度向上に努めた。
- フォロワー数は令和6年3月31日現在199,565名。昨年度よりも約7千名増加した。

### ◇note

浮世絵美術普及のため、メディアプラットフォーム「note」による情報発信を行った。

- 幅広い層の人々が浮世絵に親しみを感じ、興味関心を抱くよう、様々な切り口から、浮世絵の情報、浮世絵師の逸話などのコラム、展覧会紹介記事等を執筆し、無料で配信した。

発信記事数：3本

主な記事：「葛飾北斎が作った浮世絵を簡単に見極める方法」

「葛飾北斎が作った浮世絵を簡単に見極める方法」

「葛飾北斎が作った浮世絵を簡単に見極める方法」

・「オンライン展覧会」と銘打ち、出品作品の画像と解説を有料記事として2本配信した。実際の展覧会と連動する記事の料金は、基本的に入場料と同一とした。

年間の「オンライン展覧会」購入件数は338件で、そのうち令和5年度配信開始分の購入件数は179件だった。詳細は以下のとおり。

配信開始日	記事名	購入件数	内容
8月 9日(水)	【オンライン展覧会】 「歌川広重 山と海を旅する」展	44	実際の展覧会と連動
12月 9日(土)	【オンライン展覧会】 「深掘り！浮世絵の見方」展	135	実際の展覧会と連動

## 7) 他館との連携

- ① 山種美術館と連携し、入館料の相互割引サービスおよびポスター・チラシの相互掲出を引き続き行った。
- ② 千葉市美術館と連携し、太田記念美術館年間パスポート会員と千葉市美術館友の会会員の相互割引サービスを引き続き行った。
- ③ サントリー美術館と連携し、太田記念美術館年間パスポート会員とサントリー美術館メンバーズクラブ会員の相互割引サービスを令和5年度より開始した。

## 8) 地域との連携

- ① 東京都が行う外国人旅行者向け観光事業「ウェルカムカード」に引き続き参加した。施設割引特典付ウェルカムカード持参の外国人観光客に対して入場料割引を行った(割引対応は令和5年度で終了)。
- ② 東京地下鉄株式会社、東京都交通局の行う観光客向けサービス「ちかとく」に引き続き参加し、対象乗車券の提示により入場料割引を行った。

## 9) ミュージアムグッズ等の制作・販売

- ① 来館の記念となり、来館者が商品購入を通じて美術に親しみ、関心を深めるためのミュージアムグッズ等を制作、販売した。また、展覧会に関連したグッズ、復刻浮世絵版画、浮世絵関連書籍等を販売した。  
当館のミュージアムショップは美術館入館受付と兼ねているため、限られたスペースの中で来館者のニーズに沿うべく、販売商品を考慮のうえ選定し、充実を図った。また、普段は当館に足を運ぶことの少ない青年層やファミリー層等が来館のきっかけとなるような、魅力ある新規グッズの開発に注力した。  
令和5年度に制作した美術館オリジナルのミュージアムグッズは下記のとおり(再販含む)。
  - ・絵はがき 29種(うち通年販売8種)
  - ・額絵 4種(通年販売2種、「江戸にやんこ」展用ミニポスター3枚セット2種)
  - ・クリアファイル 4種(通年販売)
  - ・マスキングテープ 1種(通年販売)
  - ・ポチ袋 4種(通年販売3種、「江戸にやんこ」展用1種)
  - ・アクリルスタンド 3種(令和5年度「江戸にやんこ」展用に制作し、好評により通年販売化)

② 太田記念美術館オリジナルLINEスタンプ(虎子石イラスト1種)を引き続き販売した。

③ 当館発行の展覧会図録を、東京国立博物館ミュージアムショップにて委託販売した。

## 10) その他

- ① 各展覧会毎に作品タイトル、主だった展示解説について引き続き和英表記を行い、英語版作品リストを作成した。また、英語対応の可能な職員が常駐し、外国人観光客の受け入れ態勢の充実に努めた。
- ② 「江戸にやんこ」展、「ポール・ジャクレー フランス人が挑んだ新版画」展において、会期中2回目以降の来館者に対し、リピーター向け入館料割引を実施した。
- ③ 「ポール・ジャクレー フランス人が挑んだ新版画」展において、在日フランス大使館・アンスティチュ・フランスから後援を受けた。
- ④ 「美人画 麗しきキモノ」展において、きもの割引（入館料割引）を実施した。

## 4. 浮世絵研究者の育成および助成

- 1) 内外の新進浮世絵研究者育成のため、第40回浮世絵研究助成を公募し、令和6年2月1日、応募9編全てを選考委員会で審査した結果、次の研究テーマ1編を入選とした。

入選者	入選研究テーマ	助成金
大久保 範子	浮世絵にみる力士の手形と信仰の展開	700,000円

選考委員は、河野元昭氏（東京大学名誉教授）、及川茂氏（日本女子大学名誉教授）、大久保純一氏（国立歴史民俗博物館教授）、大石学氏（東京学芸大学名誉教授）、鈴木章生氏（目白大学教授）の5名。選考委員の肩書きは選考会当時のもの。

- 2) 令和3年度第38回浮世絵研究助成入選者である太田丈太郎氏の研究テーマは、ロシアへの渡航が必須であり、助成金の授与を保留していたが、近い将来において、ロシア・ウクライナ戦争が終結し、渡航可能になることは、甚だ困難な状況であることから、館内で検討を重ね、太田氏と協議の結果、助成金授与を取り消した。
- 3) 令和6年3月刊行の『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第14号』に、令和元年度第36回浮世絵研究助成入選者であるアリソン・J・ミラー氏、ならびに令和3年度第38回浮世絵研究助成入選者である形井杏奈氏による研究成果に基づいた論文の提出を受け、掲載した。  
アリソン・J・ミラー氏はアメリカ在住であり、研究テーマは日本国内での調査が必須であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて実施された政府の入国制限等の影響を考慮し、論文提出期限を延期したため、当紀要への掲載となった。
- 4) 浮世絵研究者の育成を目的として、研究成果発表の機会を提供することにより、研究活動の支援ならびに研究者相互の交流を図るため、例年開催していた若手研究者の講演会は、展示スケジュール等との兼ね合いで開催を見送った。

## 5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版

### 1) 作品の調査研究

- ① 展覧会開催やSNS等での情報発信のため、収蔵品の調査研究を行った。また、特別展開催に向けて他の美術館、博物館、ならびに個人所蔵の関連作品の情報収集を行うとともに調査研究ならびに出品交渉を行った。
- ② 展覧会毎に、来館者の鑑賞体験の充実を支援するための解説パネルの原稿を執筆した。

### 2) 資料・図書の充実

- ① 収蔵品の調査研究および図録、ブックレット等制作のため、写真撮影を行った。
- ② 作品管理の簡便化を図るため、主要収蔵品についてデジタルデータ化を進めた。
- ③ 展覧会開催および調査研究に必要な図書資料等を購入した。
- ④ 新収蔵品について作品情報データベース、美術品目録、作品カードの整備を行った。

⑤ 立命館大学アートリサーチセンター(ARC)より、研究・教育活動の一環として、太田記念美術館の収蔵品データベース作成の申し入れを受けた。撮影およびデータベース作成費用、管理、運用全般はARCが負うという条件であり、また、改正博物館法において、博物館の事業に博物館資料のデジタル・アーカイブの作成と公開が新たに位置づけられ、収蔵品のデジタル・アーカイブ化への取組みが喫緊の課題となることを見据えて受諾し、全面的に協力した。公開範囲は当面の間、当館職員およびARC研究員に限定とした。令和6年1月23日から2月22日にかけて、太田記念美術館展示室内において当館職員立ち合いの下、版画作品全点と版本の一部の写真撮影を行った。未撮影の作品の撮影は令和6年度に引き続き行う予定である。

### 3) 展覧会図録等の刊行

- ① 以下の展覧会にあわせ、図録を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。

- ・『江戸にやんこ 浮世絵ネコづくし』  
赤木 美智 「猫の浮世絵と歌川国芳」  
「鈴木春信の猫の絵—その史的位置」
- ・『ポール・ジャクレー フランス人が挑んだ新版画』  
日野原 健司 「新版画の絵師としてのポール・ジャクレー」

- ②『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第14号』を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。

- 渡邊 晃 「歌川広重「山海見立相撲」について」

- ③ 以下の書籍の監修、執筆を行った。

- ・『美人画で味わう 江戸の浮世絵おしゃれ図鑑』  
監修：太田記念美術館  
執筆：赤木 美智  
発行：株式会社 メイツユニバーサルコンテンツ(令和5年9月)

- ④ 以下の展覧会の開催にあわせ、「オンライン展覧会」と銘打った記事を執筆し、メディアプラットフォーム「note」を利用して有料で配信した。詳細は「3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動」に記載。
- ・「歌川広重 山と海を旅する」展
  - ・「深掘り！浮世絵の見方」展

## 6. 美術館の運営

### 1) 美術館改修工事

令和6年1月から3月末まで休館し、以下の工事を実施した。

#### ①大規模修繕工事

主な工事は下記のとおり。

外壁、内壁のタイル張替および補修工事、雨樋更新工事、正面玄関他防水工事、玄関まわり石貼り部分改修工事

#### ②空調設備更新工事

平成20年の更新工事から15年以上経過しており、安全性、快適性を確保するため、更新工事を実施した。当初の工事完了予定は3月末であったが、途中で地下視聴覚室系統の空調設備工事に、追加の改修を要することが判明した。部品調達の都合上、工期は4月上旬まで伸びた。

1・2階の空調は稼働可能であることから、工期の4月ずれ込みによる展覧会への影響はなかった。

### 2) 施設の整備

- ① 来館者が安全、快適に過ごせるよう、適切な保全管理に努めた。
- ② 5月に美術館正面玄関前の床石の剥がれが発見され、来館者の安全のため、応急補修工事を行った。
- ③ 敷地内バリカーの破損による交換工事を行った。
- ④ 9月に収蔵庫系統の空調設備が故障し、作品保護のため応急補修工事を行った。
- ⑤ 来館者の安全のため、館内の非常照明増設工事を行った。
- ⑥ 地下視聴覚室のLAN配線工事を行った。
- ⑦ 2階展示ケースのガラスフィルム貼替工事を行った。

### 3) 改正博物館法への対応

- ① 立命館大学アートリサーチセンター(ARC)より、太田記念美術館の収蔵品データベース作成の申し入れを受け、改正博物館法において、収蔵品のデジタル・アーカイブ化への取組みが喫緊の課題となることを見据えて受諾し、全面的に協力した。詳細は「5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版」に記載。
- ② 博物館同士の連携が努力義務として位置付けられ、学芸員同士の交流が重要であることから、近隣の施設に呼びかけ、当館にて学芸員情報交換会を開催し、顔合わせや情報交換、今後のスケジュールの相談等を行った。第1回(8月4日)は14館24名、第2回(10月19日)は22館37名が参加した。
- ③ 東京都へ博物館等運営状況定期報告書(令和4年度)を提出した。

## II 収益事業(美術館建物の一部を店舗として賃貸する事業)

美術館建物の地下の一部を、てぬぐい専門店である株式会社かまわぬに賃貸した。

## III 理事会・評議員会等の開催

令和5年6月7日	令和5年度第1回理事会	
開催場所	南国酒家 原宿店	
決議事項	令和4年度事業報告および収支決算の承認の件 理事の候補者承認の件 評議員会開催の件	原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告 新型コロナウイルス対策、東京都の博物館等運営状況定期報告 他	
出席等	定足数5名、出席7名(内オンライン出席1名)、欠席1名、監事出席2名	
令和5年6月22日	令和5年度第1回評議員会(決議の省略)	
決議事項	令和4年度事業報告および収支決算の承認の件 理事の選任の件	書面決議 書面決議
令和5年7月5日	令和5年度第2回理事会(決議の省略)	
決議事項	太田幹人を代表理事に選定し、理事長とする件 大塚和晴を代表理事に選定し、副理事長とする件	書面決議 書面決議
令和6年3月6日	令和5年度第3回理事会	
開催場所	水交会ピーターハウス	
決議事項	令和6年度事業計画および収支予算承認の件 建物特別修繕積立基金への資金繰入承認の件	原案通り可決 原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告 浮世絵研究助成、収蔵作品のデータベース作成 他	
出席等	定足数5名、出席7名(内オンライン出席2名)、欠席1名、監事出席2名	

## IV 官公庁への届出等

- 令和5年5月26日 東京都へ博物館等運営状況定期報告書を提出(令和4年度)  
令和5年6月23日 内閣府へ事業報告等の提出(令和4年度)を電子申請  
令和6年3月16日 内閣府へ事業計画書等の提出(令和6年度)を電子申請

## 令和5年度事業報告の附属明細書について

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年6月  
公益財団法人 太田記念美術館